

れいわ ねん がつ にちはっこう だいごう
令和6年1月30日発行 第10号

渋谷の荘だより

いま い みらい にな しぶちゅうせい
「今を生き 未来を担え 渋谷中生」

やまとしりつしぶやちゅうがっこう
大和市立渋谷中学校



かどうぶいんきょうどうさくひん
華道部員共同作品

いよいよ、3年生は受験本番に入りました。初めての経験で不安も沢山あると思いますが、ベストを尽くしてほしいと思っています。学校でも、丁寧かつ慎重なサポートをしております。1,2年生も学年の最後の行事やまとめの学習などに力を入れて取り組んでおります。令和5年度の学びと経験が来年度につながるよう職員全員で支えていきたいと思っています。

がっ にちかいせい
12月19日開催

れいわ ねん ど
令和5年度

こうないえきでんたいかい お
校内駅伝大会を終えて



ご報告



こうないえきでんじっこういいんちよう
校内駅伝実行委員長

いわさきやすひろ
岩崎康浩

今年度も無事に校内駅伝大会を終了することができました。運営にあたり、PTAの方はもちろんのこと、地域の方々や外部機関の方々に感謝申し上げます。駅伝大会は、学校行事ではありますが、他の行事に比べても地域の方も含め、たくさんの方々のご協力成り立っている行事であると思っています。コースであるいちよう団地周辺におきましては、自治会長さんを中心に前日の夜から早朝にかけて駐車している自動車の持ち主さんへの呼びかけ等を行い、安全な運営へと繋がっております。たくさんの方々に支えられながら、安心・安全に学校で子どもたちを育てることができると改めて感じました。



さて、駅伝大会におきまして、今年度の大きな転機は、何といたっても段階的な行事の復活でした。

駅伝大会の取り組みの中で大きく変化したことが2つあります。

1点目は、全校生徒による全体練習の復活です。昨年度までは、感染防止の観点から学年別での練習をしていましたが、今年度は練習を全校生徒で行うことができました。やはり、グラウンドに全校生徒が集まって集団で練習していると活気があります。今年度は、15分間走という練習を取り入れましたが、どんどん黙々と走る生徒、休みながらゆっくり走る生徒、友人と楽しそうにリラックスして走る生徒など、様々な一面が見受けられました。駅伝大会の本番での頑張りも素敵ではありますが、本番に向けての取り組み姿勢も大好きです。人それぞれの熱意に差はあるものの取り組み方で本番が終わった後に残るものが大きく変わってくると思います。確かに、順位という結果

は出てしまいますが、どんな気持ちで取り組むのか次第で順位以上の結果が付いてくるだろうし、
よく悪くも集団をパワーアップするためのきっかけになるのではないのでしょうか。各クラスにとっ
て、どんな駅伝大会になりましたか。

2点目は、PTAの方々による豚汁の振る舞いです。豚汁の
振る舞いについては、4年ぶりの復活でした。まずは一言を言
わせてください。「うまい！！」です。PTAの方々やあけぼの
幼稚園の園長先生たちが、大きな釜を使って大量に作ります。
不思議なことに、大きな釜を使っているせいなのか本当に
美味しかったです。子どもたちからも「美味しかったです」「ちょー食べました」なんていう声が出て
いました。それから、数年ぶりの豚汁の振る舞いでもあったので、PTAの方々を中心に念入りな
準備をしていただき、材料にしてもお店への発注から運搬、材料の下ごしらえもしていただい
ていました。事前の準備から当日の作業等、本当に感謝です。ありがとうございました。

このように、駅伝大会の円滑な運営のために、たくさんの方々関わってくれています。生徒の
みなさんは、そのような方々の支えがあることを忘れないでください。駅伝大会に限らず、日頃か
ら支えてくれている家族、友達、地域の方へ何かのタイミングやきっかけで「ありがとう」ってさ
り気なく伝えてくださいね。

